教科シラバス

◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論1	◆科目コード	10701	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×10

◆授業の目的と概要	ワインディングの上巻き、下巻きの安定
◆到達目標	正しい巻き方で上巻き、下巻きが出来るようになる

科目	No.	授業回数	内容	持ち物	備考
授業計画	1	1.2.3	オリエンテーション		
	2	4.5.6	オリエンテーション	クランプ、ウィッグ①、シザーケース、ジャンボコーム(黒)、リングコーム(茶)、テーツコーム(青)、水スプレー(水入れておく)、割れない台皿、白タオル１枚	
	3	7.8.9	オリエンテーション	クランプ、ウィッグ①、シザーケース、ワインディング用具一式（ ロッドケース、ジャンボコーム、目盛り付コーム、ペーパーハウス、ペーパー、白ゴム、水スプレー、割れない台皿、）白タオル１枚	
	4	10.11.12	ウィッグシャンプー、テーブルセッティング、ブロッキング	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	5	13.14.15	ブロッキング、上巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	6	16.17.18	ブロッキング、上巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	7	19.20.21	ブロッキング、下巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	8	22.23.24	ブロッキング、下巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	9	25.26.27	上巻き、下巻き練習	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	
	10	28.29.30	上巻き、下巻きチェック【　成績　】	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	

主な使用教材	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚
評価方法及び基準	10回目授業において巻き方チェックにより評価します
	A→上巻き、下巻きが正しくできている
	D→上巻き、下巻きが正しくできない
	D評価の場合、美理2の授業内で再チェック
	欠席した場合、追試験を受験することができる。追試験で合格した場合はC評価とする。

教科シラバス

◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論2	◆科目コード	10702	◆授業の方法	実習・講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（前期）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×10

◆授業の目的と概要	ワインディングの上巻き、下巻きの安定 オール構成巻けるようにする
◆到達目標	タイムを意識して構成を理解して巻けるようになる事

科目	No.	授業回数	内容	持ち物	備考
授業計画	1	1.2.3	上巻き、下巻き練習	クランプ、ワインディングウィッグ、ワインディング用具一式（ ロッドケース、ジャンボコーム、目盛り付コーム、ペーパー、白ゴム、水スプレー、割れない台皿、ラックス、ビニール袋、白タオル1枚	構成理解
	2	4.5.6	センター構成　テスト未認定の子、再チェック	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	3	7.8.9	センター構成復習オンベース、1／2で広げて巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	4	10.11.12	デザイン巻き （センター復習）フロント斜めに巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	5	13.14.15	デザイン巻き （センター復習）フロント・バックサイド（オレンジ） 斜めに巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	6	16.17.18	デザイン巻き （センター、フロント復習）バックサイド（ピンク） 斜めに巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	7	19.20.21	デザイン巻き （センター、フロント復習）バックサイド（ネープ） 斜めに巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	8	22.23.24	デザイン巻き （センター、フロント復習）バックサイド・サイド 左右対称に巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	9	25.26.27	デザイン巻き　全頭巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解
	10	28.29.30	ブロッキング、全頭巻けたかチェック【　成績　】	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	構成理解

主な使用教材	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚
評価方法及び基準	10回目授業において全頭が巻けるかどうかチェックし、評価します A→ブロッキング10分、全頭巻き52分の時間内に巻ける。正しいロッドで巻けている。 D→タイムオーバー。正しいロッドで巻けていない。 D評価の場合、BASIC3のパーマ科目において再チェック 欠席した場合、追試験を受験することができる。追試験で合格した場合はC評価とする。

教科シラバス

◆教科	美容技術理論	◆科目	美容技術理論3	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード	10703	◆担当教員	常勤教員		

◆授業の目的と概要	美容実習の内容を理論的に学び、より美容に対する知識を深め、理解し、興味を持ってもらう
◆到達目標	基礎知識を確実に理解させる

授業計画

回	内容	教科書	詳細	授業の形式	備考
1	オリエンテーション1		授業について（ルール説明・進め方）・グループワーク	対面	1回目 試験範囲
2	序章	P6～14	作業姿勢・人体各部の名称・ヘアラインの名称・東部の基準のポイント	対面	
3	1章　美容用具	P16～25	美容技術における用具・コーム・ブラシ・シザーズ	対面	
4	1章　美容用具	P26～35	レザー・ピン類・ロッド・ローラー・ヘアアイロン・ヘアドライヤー・スチーマー・遠赤外線機	対面	
5	2章　シャンプーイング	P38～44	シャンプーイング総論	対面	
6	2章　シャンプーイング	P45～51	サイドシャンプー・バックシャンプー【動画】・グループワーク【メリット・デメリット】	対面	
7	2章　シャンプーイング	P52～65	リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント・ヘッドスパ	対面	
8	3章　ヘアデザイン	P68～73　15行目	錯覚現象	対面	2回目
9	テスト対策			対面	
10	3章　ヘアデザイン			対面	2回目
11	テスト返却・解説			対面	
12	オリエンテーション			対面	
13	3章　ヘアデザイン			対面	2回目 試験範囲
14	3章　ヘアデザイン			対面	
15	5章　パーマネントウェーブ			対面	
16	5章　パーマネントウェーブ			対面	
17	5章　パーマネントウェーブ			対面	
18	4章　ヘアカッティング			対面	
19	4章　ヘアカッティング			対面	
20	4章　ヘアカッティング			対面	
21	4章　ヘアカッティング			対面	
22	テスト対策：ヘアデザイン			対面	
23	テスト対策：ヘアカッティング			対面	
24	テスト返却・解説			対面	
25	6章　ヘアカラーリング			対面	3回目 試験範囲
26	6章　ヘアカラーリング			対面	
27	6章　ヘアカラーリング			対面	
28	6章　ヘアカラーリング			対面	
29	テスト対策			対面	
30	テスト返却・解説			対面	

主な使用教材	『美容技術理論1』第2編（公益社団法人日本理容美容教育センター）
評価方法及び基準	□定期テスト3回の合計点数÷定期テストの規定回数=評価点
	90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D
	□定期テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。
	学生のてびき第1章（3）①～⑥の理由で定期テストを欠席した場合、追試験の素点を評価の対象とする。
	自己都合で定期テストを欠席した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を
	評価の対象とする。
	□各回の定期テストで60点未満の生徒については、講習を受講したうえで再試験を受験することを義務づける。
	再試験を受験した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。

教科シラバス

◆教科	美容実習	◆科目	BASIC1 シャンプー・トリートメント	◆科目コード	10815	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	専任教員 （実務経験あり）	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	サロンワークで実践できる技術を習得するため、サロンで実務経験のある教員が、シャンプーの基礎知識・手技を指導する。 人体にもなれるようにする						
◆到達目標	バックシャンプー、サイドシャンプー、ヘッドスパ、トリートメントの技術を習得し、人体にも慣れ、相モデル施術ができる ようになる。						

科目	No.	内容		商材	持ち物	備考
授業計画	1	バックシャンプー			モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	2	サイドシャンプー			モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	3	バックシャンプー			モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	4	サイドシャンプー			モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	5	バックシャンプー			モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	6	バックシャンプー ヘッドスパ		リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	7	バックシャンプー ヘッドスパ		リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	8	バックシャンプー ヘッドスパ	技術チェック 対策	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	9	バックシャンプー ヘッドスパ	技術チェック 対策	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
	10	バックシャンプー ヘッドスパ	技術 チェック	リルラ	モカタオル3枚、シャンプークロス、ダックカール2本	頭を濡らして乾かします オイルやスタイリング剤は各自持ってくる
主な使用教材		プリント				
評価方法及び基準		10回目の技術チェックで評価 20個のチェック項目から減点方式 □A評価→チェック0～2個 □B評価→チェック3～6個 □C評価→チェック7～12個 □D評価→チェック13～20個 D評価の学生については、レポートの提出をもって単位を認定する。				

教科シラバス

◆教科	美容実習	◆科目	BAISC2 カット・カラー	◆科目コード	10816	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	（カット）3h×20 （ヘアカラー）3h×20
◆授業の目的と概要	【カット】現在、旬のスタイルをいくつか紹介し、それをサロンで実務経験のある教員が、サロンワークへの活用法について教える。また、自分でデザインしたカットができるように教えたり、国家試験課題（カット）との関連性についても説明する。 【ヘアカラー】基本的な簡単デザインカラーをいくつか紹介し、それを、サロンで実務経験のある教員が、サロンワークへの活用法について教える。また、自分のイメージを実際にデザイン画に起こし、ウイッグでカラーを用いた作品を作る。						
◆到達目標	【カット】基礎を学び、デザインできる力をつける。 【ヘアカラー】ウイッグカラーの基礎技術習得、ダブルカラー技術を用いて、ウイッグで作品作りができる。						

科目	No.	授業回数	内容	持ち物	備考
カット	1	1.2.3	ワンレングス練習	カット道具一式 （シザー ダックカール コーム類 白トレー スプレイヤー セーム革	ウィッグ① 国試① ※ウィッグ①カラー3へいく
	2	4.5.6	ワンレングス	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ② ＊カラー8へ
	3	7.8.9	アレンジウィッグカット コテ巻き	カット道具一式 26mmコテ	アレンジウィッグ ウィッグ②
	4	10.11.12	レイヤー	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ④
	5	13.14.15	レイヤー質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ④ ＊カラー
	6	16.17.18	ボブ	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ③
	7	19.20.21	ボブ質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ③
	8	22.23.24	グラデーション	カット道具一式	ウィッグ② ＊カラー8から戻ってくる
	9	25.26.27	グラデーション質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ② ＊パーマ⑯へいく ST終わり
	10	28.29.30	ウルフ	カット道具一式 名前ペン	ウィッグ⑤
	11	31.32.33	ウルフ 質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ⑤ ＊カラー18へ
	12	34.35.36	ハンサムショート	カット道具一式	ウィッグ④
	13	37.38.39	ハンサムショート質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ④
	14	40.41.42	国試ウィッグ③ ④ 刈り上げ	カット道具一式	国試ウィッグ②③
	15	43.44.45	メンズ センターパート 外部講師 fifth	カット道具一式	ウィッグ③ ＊カラー15から戻ってくる パーマ㉛
	16	46.47.48	メンズショート	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ④
	17	49.50.51	メンズマッシュ	カット道具一式	ウィッグ① ＊カラー7から戻ってくる
	18	52.53.54	メンズマッシュ質感調整	カット道具一式 26mmコテ	ウィッグ① ＊使用後廃棄
	19	55.56.57	レザーカット	カット道具一式、名前ペン	ウィッグ⑤ ＊パーマ㉝へ
	20	58.59.60	スパイキーショート	カット道具一式 26mmコテ	国試WDウィッグ④

主な使用教材	
評価方法及び基準	19回目の授業において、レザーカットの作品提出により評価 A→授業内で作品提出 C→授業内で作品を提出することができず、後日、代替課題（レポート）の提出

科目	No.	授業回数	内容	持ち物	備考
ヘアカラー	1	1.2.3	一般知識・カラー剤について	筆記用具、マーカーペン	パッチテスト
	2	4.5.6	絵の具・塗り絵・色相環	モカタオル1枚、油性ペン、	ラップ配布
	3	7.8.9	グレイカラー 塗布練習① ハケの使い方 塗布の仕方 グレイカラーの仕組み	カラー道具一式（ウィッグ、モカタオル3枚、クランプ、ダックカール、スプレイヤー、ラップ、トリートメント、ジャンボコーム）、ネームペン	ウィッグ①ワンレングス ＊アレンジ3、4からくる グローブ2セット配布
	4	10.11.12	ワンメイク 塗布練習 塗布の仕方・手順 トーンアップについて	カラー道具一式（ウィッグ、モカタオル3枚、クランプ、ダックカール、スプレイヤー、ラップ、トリートメント、ジャンボコーム、グローブ）	ウィッグ①
	5	13.14.15	ワンメイク ライトナー	カラー道具一式	ウィッグ①
	6	16.17.18	ワンメイク ブリーチ剤	カラー道具一式	ウィッグ①
	7	19.20.21	色味出し検証 半永久染毛料	カラー道具一式、白ゴム16個	ウィッグ①
	8	22.23.24	エンドカラー ブリーチオンカラー	カラー道具一式	ウィッグ② ＊カット8へいく
	9	25.26.27	リタッチ 塗布練習① 塗布の仕方・手順	カラー道具一式	ウィッグ④レイヤー
	10	28.29.30	リタッチ 塗布練習② 塗布手順確認	カラー道具一式	ウィッグ④
	11	31.32.33	リタッチ チェック トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ④ グローブ1セット配布
	12	34.35.36	ホイルワーク スライシング練習 トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ④
	13	37.38.39	ホイルワーク ウィービング練習 トレクリ	カラー道具一式	ウィッグ④
	14	46.47.48	メンズブリーチ コームテク	カラー道具一式	ウィッグ③
	15	49.50.51	メンズブリーチ ＋ オンカラー	カラー道具一式	ウィッグ③
	16	52.53.54	インナーカラー ブリーチ オンカラー	カラー道具一式	ウィッグ②
	17	55.56.57	アンブレラカラー ブリーチ オンカラー	カラー道具一式	ウィッグ②
	18	58.59.60	外部講師		
	19	40.41.42	外部講師 ホイルワークデザイン ブリーチ	カラー道具一式	ウィッグ⑤カット17からウルフ

	20	43.44.45	ホイルワーク　全頭 酸化染毛剤	カラー道具一式	ウィッグ⑤

主な使用教材	プリント
評価方法及び基準	11回目の授業において、10個の項目についてチェックし、評価をつけます。
	A→チェック0～2個、B→チェック3～4個、C→チェック5～9個
	D→タイムオーバーまたはチェック10個
	D評価の場合、担当教員の指定した課題を提出することによりC評価とする。
BASIC2の評価方法及び基準	カット、ヘアカラーともに、A→95点、B→80点、C→65点換算して、合計して2で割った点数により評価
	90～100点→A評価、70～89点→B評価、60～69点→C評価、59点以下→D評価

教科シラバス

◆教科	美容実習	◆科目	BAISC3 ヘアアレンジ・パーマ	◆科目コード	10817	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	専任教員 （実務経験あり）	◆授業の回数	ヘアアレンジ：3h×20 パーマ：3h×30
◆授業の目的と概要	【ヘアアレンジ】アレンジの基礎を理解し、将来、サロンワークでも応用して実践できるよう、美容室で実務経験のある教員が教える。 【パーマ】美容室で実務経験のある教員が、サロンワークで行う様々なワインディングを経験させ、実際に薬液を使用し、パーマの行程まで理解させる						
◆到達目標	【ヘアアレンジ】基礎ができるようになる・スタイルが作れるようになる。 【パーマ】基礎を学び、いろいろな巻き方を身につける。						

科目	No.	授業項目	内容	持ち物	備考
ヘアアレンジ	1	1.2.3	物品配布	☆アレンジ用具一式 (アレンジウィッグ、名前ペン、クレイツカールアイロン26ミリ、カールアイロンポーチ、ピンケース(中にピン類、黒ゴム、PUバンド)、頭皮ケアブラシ、ファイナルコーム801、N.ポリッシュオイル、毛たぼ、コットンバック大、ダックカール、クランプ、白トレー、プロタオル(モカ)1枚)工作バサミ、名前ペン	
	2	4.5.6	ウィッグシャンプー・みつあみ・編み込み	☆アレンジ用具一式、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント	
	3	7.8.9	基礎・簡単アレンジ	☆アレンジ用具一式	
	4	10.11.12	ミディアム巻き	☆アレンジ用具一式(ウィッグはアレンジウィッグとカット②のワンレン)	ウィッグ②使用(カットでワンレン)
	5	13.14.15	ミディアムアレンジ	☆アレンジ用具一式(ウィッグはアレンジウィッグとカット②のワンレン)	ウィッグ②使用(カットでワンレン)
	6	16.17.18	コテ巻き・ハーフアップ	☆アレンジ用具一式	
	7	19.20.21	外部講師：EL-SHADOLL　編みおろし	☆アレンジ用具一式、スプレイヤー	
	8	22.23.24	DIY(フラワー・パール)	☆ピンケース、白トレー、タオル(モカ)1枚、工作バサミ	
	9	25.26.27	外部講師：LEARO　加藤氏	筆記用具、スマホ	
	10	28.29.30	加藤氏　復習	☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	11	31.32.33	三つ編み・編み込みチェック／ウィッグシャンプー	☆アレンジ用具一式　ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント	
	12	34.35.36	DIY(リボン)・ツインテール	☆アレンジ用具一式、工作バサミ	
	13	37.38.39	アップスタイル	☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	14	40.41.42	ゴム結び・隠しピンチェック	☆アレンジ用具一式	
	15	43.44.45	ホットカーラー巻・アップスタイル	☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	16	46.47.48	外部講師：Dityca	☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	17	49.50.51	ポニーテール／ウィッグシャンプー	☆アレンジ用具一式、ジャンボコーム、実習タオル2枚(白)、トリートメント	
	18	52.53.54	編み込みアップスタイル	☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	19	55.56.57		☆アレンジ用具一式、髪飾り	
	20	58.59.60	相モデル	☆アレンジ用具一式　使いたいコテ、アイロン、スタイリング剤	
主な使用教材	☆アレンジ用具一式 (アレンジウィッグ、名前ペン、クレイツカールアイロン26ミリ、カールアイロンポーチ、ピンケース(中にピン類、黒ゴム、PUバンド)、頭皮ケアブラシ、ファイナルコーム801、N.ポリッシュオイル、毛たぼ、コットンバック大、ダックカール、クランプ、トレー、プロタオル(モカ)1枚)、工作バサミ、名前ペン				
評価方法及び基準	11回目、14回目のチェックで評価 11回目→三つ編み(A25点、B20点、C15点、D0点)、編み込み(A25点、B20点、C15点、D0点) 14回目→黒ゴム一束結び(合格25点、不合格0点)、隠しピン(合格25点、不合格0点)				
パーマ	21	61.62.63	グラデーションパーマWD	クランプ、カットウィッグ、トレー、WDコーム、スプレイヤー、タオル5枚、ダックカール、ゴミ袋、濡れたタオル持ち帰る袋、トリートメント、カット道具、カラーグローブ	ウィッグ②　※次回ストレートします
	22	64.65.66	グラデーションパーマ薬液実習・セニング・スタイリング		
	23	67.68.69	デザイン巻き　全頭巻く　スライスの取り方、 角度復習　前頭52分欠席者再チェック	クランプ、ワインディングウィッグ、ワインディング用具一式【　ロッドケース、ジャンボコーム、目盛り付コーム、ペーパー、白ゴム、水スプレー、割れない台皿、ラックス、ビニール袋　】白タオル1枚	WDウィッグ
	24	70.71.72	センターのみ2人で巻いてヘルプの練習、 フロントからは1人で巻く（ヘルプの練習してみよう）	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	25	73.74.75	早くブロッキングをとってみる　デザイン巻き　全頭	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	26	76.77.78	センター構成　1本を早く巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	27	79.80.81	フロント・バックサイド・サイド構成 1本を早く巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	28	82.83.84	フロント・バックサイド・サイド構成 1本を早く巻いてみる	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	29	85.86.87	各ブロックで早く巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	30	88.89.90	各ブロックで早く巻く	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	31	91.92.93	デザイン巻き　全頭　45分　ブロッキング8分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	32	94.95.96	デザイン巻き　全頭　40分　ブロッキング7分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	33	97.98.99	デザイン巻き　全頭　40分　ブロッキング7分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	34	100.101.102	デザイン巻き　全頭　35分　ブロッキング6分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	35	103.104.105	デザイン巻き　全頭　35分　ブロッキング6分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	36	106.107.108	デザイン巻き　全頭　30分　ブロッキング5分	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ
	37	109.110.111	デザイン巻き　全頭　30分　ブロッキング5分　チェック	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル1枚	WDウィッグ

	38	112.113.114	ピンパーマ、豆ロッド	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	ウィッグ③
	39	115.116.117	外部講師：アリミノ　パーマ理論	メモ用紙、スマホ	
	40	118.119.120	縦巻きの毛先巻き　ゴム掛け(クロス掛け)・逆巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	WDウィッグ
	41	121.122.123	縦巻きの中間巻き　ゴム掛け（たすき掛け）・波巻き	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	WDウィッグ
	42	124.125.126	いろんなロッドを巻いてみよう！ （ビックロッド、ロングロッド、円錐ロッド）	クランプ、アレンジウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	アレンジウィッグ
	43	127.128.129	ストレートパーマ、薬液実習、1液	クランプ、カットウィッグ、茶コーム、トレー、タオル5枚、ダックカール5本、 濡れたタオル持ち帰る袋、ラップ、トリートメント	ウィッグ②※使用後廃棄
	44	130.131.132	ストレートアイロン、2液、ブロー仕上げ		
	45	133.134.135	パーマヘルプ(2人1組)　クラス替え後	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚	WDウィッグ
	46	136.137.138	AWウィッグ作成シャンプーブロッキング	クランプ、AWウィッグ、目盛り付コーム、白ゴム20本、白タオル2枚、 ダックカール、水スプレー、ジャンボコーム、シザー、定規	AWウィッグ
	47	139.140.141	AWカット	クランプ、AWウィッグ、目盛り付コーム、白タオル1枚、ダックカール、 水スプレー、ジャンボコーム、シザー、定規	
	48	142.143.144	AWパーマWD	クランプ、AWウィッグ、白コーム、白ゴム80本、トレー、タオル5枚、ダックカール5本、ペーパーゴミ袋、濡れたタオル持ち帰る袋、トリートメント	
	49	145.146.147	AWパーマ薬液塗布		
	50	148.149.150	AWウィッグ　セニング	クランプ、AWウィッグ、目盛り付コーム、白ゴム20本、白タオル2枚、ダックカール、水スプレー、ジャンボコーム、シザー、定規	
主な使用教材	クランプ、WDウィッグ、WD用具一式、白タオル１枚				
評価方法及び基準	AWウィッグ作成の46～50回目の5回で完成する				
	授業内でウィッグを完成させるとA評価→100点換算、48、49回目を欠席して別日で作成した場合はB評価→80点換算とする。				
BASIC3の評価方法及び基準	アレンジ、パーマともに点数を50点換算して、100点満点で評価				
	90～100点→A評価、70～89点→B評価、60～69点→C評価、59点以下→D評価				
	D評価となった学生については、担当教員が指定した課題を提出することにより単位を認定する。				

教科シラバス

◆教科	美容実習	◆科目	BASIC4	◆科目コード	10819	◆授業の方法	実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	専任教員	◆授業の回数	3h×20

◆授業の目的と概要	国家試験の課題であるWD、AW、カット、サロンワークで主に用いられるシャンプーやカラー以外にも、美容実習課目として学ぶべき科目はあります。 ここでは、メイクやまつエク、特殊技術であるエステ、ネイル、和装技術である着付けを学びます。
◆到達目標	ここで学ぶ技術の目的、種類、特徴等を理解し、夏休み明けからのコース選択にあたっての判断材料とできること。

科目	No.	授業回数	内容	持ち物	備考
メイク	1	1.2.3	物品配布・セルフスキンケア・メイクの基礎知識・顔写真撮影	油性の名前ペン・ダックカール2本　※授業後お化粧がしたい人は自分の化粧品	すっぴんで来る
	2	4.5.6	外部講師	筆記用具	メイクしてきて良い
	3	7.8.9	スキンケア・ベース・ パウダー・アイブロウ	メイクバック	すっぴんで来る(教室で出席確認後、メイク室に移動)
	4	10.11.12	スキンケア・ベース・ パウダー・アイメイク・リップ	メイクバック	すっぴんで来る
	5	13.14.15	スキンケア・ベース・ハイロー・チーク・アイブロウ・アイメイク	メイクバック	すっぴんで来る
	6	16.17.18	メイク評価 40分	メイクバック	すっぴんで来る
	7	19.20.21	スキンケア・アクアパック・フェイスマッサージ	メイクバック	すっぴんで来る
	8	22.23.24	ゴールデンバランス	筆記用具・定規・色鉛筆	メイクしてきて良い
	9	25.26.27	トレンドメイク(束まつ毛・ポイントラメメイク)	メイクバック	すっぴんで来る
	10	28.29.30	特殊メイク	メイクバック ※白い服は着て来ないでください。黒や濃い色が理想！	メイクしてきて良い
	（注意事項）		肌トラブルが原因でモデルができず、ウィッグ相手にテストを受けたい場合は、皮膚科通院証明を提出してください		
ネイル	11	31.32.33	ネイルケアデモ、ネイルケア相モデル実習、爪磨き	タオル3枚	
	12	34.35.36	カラーリングデモ、カラーリング相モデル実習	タオル2枚	
	13	37.38.39	フリーアート作品制作	タオル1枚、油性ペン、携帯を使うので充電満タンに	
	（使用教材）		プリント		
	（注意事項）		自爪の状態にしておく。何かついている場合、授業に参加出来ません。実習靴はいりません。		
まつエク	14	40.41.42	まつ毛エクステンション装着体験、概論	髪の毛をまとめるゴム、ダックカールなど	薬液を使います
	15	43.44.45	まつ毛エクステンション装着、オフ		
	（使用教材）		教科書		
エステ	16	46.47.48	パッチテスト・化粧品説明・角質除去&パック（腕）	筆記用具	※1、2回目(パッチテスト、トリートメント)ともウデに行いますので、ウデの出せる服装にしてください
	17	49.50.51	フェイシャルケア（クレンジング、パック、仕上げ）	メイク直し・筆記用具・モカタオル1枚・髪留め	
	（使用教材）		プリント		
着付け	18	52.53.54	和室でのマナー、挨拶　自装(女性用浴衣)	半袖Tシャツ（長Tシャツ）、ハーフパンツ(長パンツ)、替えの靴下（素足、ストッキング禁止）髪の毛をまとめるゴム、ヘアクリップ ※靴下がないと畳にあがれません。浴衣は共有物なのでタンクトップ、ノースリーブ、キャミソールなど袖の無い服装は浴衣を着れません。	着替えを済ませて来てください エプロン名札着用で7階着付室で出席確認
	19	55.56.57	他装(女性用浴衣、男子用浴衣)浴衣たたみ方		
	20	58.59.60	他装(女性用浴衣)) 確認テスト		
	（使用教材）		浴衣、和装小物一式、		

評価方法及び基準	各科目20点ずつの配点で、5科目100点満点で評価します。
	【メイク】出席率、6回目のテストにて評価
	【ネイル】ネイルケア、カラーリングの理解、アート作品の仕上がり
	【まつエク】2回目の授業において技術チェックをします。出来栄えではなく、体験学習としての要素を重要視します。　A～C評価
	【エステ】2回の授業について、体験学習としての要素を重要視します。
	【着付け】1、2回目マナー、3回目女性他装
	90～100点→A評価、70～89点→B評価、60～69点→C評価、59点以下→D評価
	D評価となった学生については、担当教員が指定した課題を提出することにより単位を認定する。

教科シラバス

◆教科	保健	◆科目	保健Ⅰ （人体の構造及び機能）	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード		◆担当教員	非常勤講師		
◆授業の目的と概要	美容技術の基礎となる人体について、構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とし、人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴について理解するために学ぶ。				
◆到達目標	人体（頭部、顔部及び頸部に限る）の骨格、筋の種類、構造、機能、神経機能の仕組みについて理解すること。				

授業計画	回	内容	教科書（副教材）	授業の形式	備考
	1	第1章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学 1、人体各部の名称、2、頭頸部の体表解剖学	P10～17	講義	
	2	〃		講義	
	3	〃		講義	
	4	第2章　骨角器系　1、骨の種類と構造、2、骨の連結、3、骨角器系とそのはたらき	P18～25	講義	
	5	〃		講義	
	6	〃		講義	
	7	第3章　筋系、1、筋の種類と特徴　2、主な骨格筋とそのはたらき　3、表情筋と表情運動	P26～31	講義	
	8	〃		講義	
	9	〃		講義	
	10	第1章～第3章の復習		講義	
	11	第4章　神経系、1、神経の成り立ち　～　3、末梢神経系とそのはたらき	P32～37	講義	
	12	〃		講義	
	13	〃		講義	
	14	第5章　感覚器系、1、視覚　～　6、皮膚感覚	P38～43	講義	
	15	〃		講義	
	16	〃		講義	
	17	第6章　血液と免疫系、1、血液のあらまし　～　3、アレルギー	P44～49	講義	
	18	〃		講義	
	19	〃		講義	
	20	第4章～第6章の復習		講義	
	21	第7章　循環器系、1、心臓のあらまし　～　4、リンパ管系の仕組みとはたらき	P50～55	講義	
	22	〃		講義	
	23	〃		講義	
	24	第8章　呼吸器系、1、呼吸器系のあらまし　～　4、呼吸運動	P56～59	講義	
	25	〃		講義	
	26	〃		講義	
	27	第9章　消化器系、1、消化器のあらまし　～　4、消化と物質代謝	P60～69	講義	
	28	〃		講義	
	29	〃		講義	
	30	第7章～第9章の復習		講義	

主な使用教材	『保健』（公益社団法人日本理容美容教育センター）
評価方法及び基準	□定期テスト3回の合計点数÷定期テストの規定回数=評価点 90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D □定期テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。 学生のてびき第1章（3）①～⑥の理由で定期テストを欠席した場合、追試験の素点を評価の対象とする。 自己都合で定期テストを欠席した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。 □各回の定期テストで60点未満の生徒については、講習を受講したうえで再試験を受験することを義務づける。 再試験を受験した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。

教科シラバス

◆教科	保健	◆科目	保健2（皮膚科学）	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード	11202	◆担当教員	非常勤講師		

◆授業の目的と概要	美容師が行うカッティングやシャンプー技術などの業務を安全かつ効果的に行うためには、頭皮および毛髪の知識に基づいたプロの能力が必要になることから、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解するために学ぶ。
◆到達目標	お客さんからの頭皮、毛髪、肌の健康管理ができる知識と技術に対する要望に応えられるよう、皮膚や毛髪に関して深く理解することができる。

授業計画

回	内容	教科書	プリント	授業の形式	備考
1	皮膚科学の学習目的	P1~7	P1	対面	
2	第1章 皮膚の構造（皮膚の表面、表皮の断面）	P70～72	P2	対面	
3	〃（表皮）	P73～74	P3~4	対面	
4	〃（表皮と真皮の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差）	P75～79	P5~6	対面	
5	復習（問題演習）第1章（2択問題）	P 70～79	P7~8	対面	
6	復習（問題演習）第1章（2択問題・4択問題）	P 70～79	P9~12	対面	
7	第2章 皮膚付属器官の構造（毛）	P80～83	P13～14	対面	
8	〃（毛の型の変化、毛の成長、毛の性状、立毛筋）	P84～86	P15～16	対面	
9	〃（脂腺、汗腺、爪）	P86～89	P17～18	対面	
10	復習（問題演習）第2章（2択問題）	P 80～89	P19～20	対面	
11	第1回目期末試験対策（第1章～第2章）	P 70～89	P21～24	対面	
12	第3章 皮膚の循環器系と神経系（皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経）	P90～93	P25～26	対面	
13	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能（対外保護作用）	P94～96	P27～28	対面	
14	〃（体温調節作用）	P96～98	P29	対面	
15	〃（分泌排泄作用）	P99～102	P30	対面	
16	〃（吸収作用～爪の働き）	P102～105	P31～32	対面	
17	復習（問題演習）第4章（2択問題）	P 94～105	P33～34	対面	
18	復習（問題演習）第4章（22択問題・4択問題）	P94～105	P35～36	対面	
19	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健（皮膚と全身状態～皮膚と体内病変）	P106～110	P37～38	対面	
20	〃（皮膚の水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモン）	P111～117	P39～40	対面	
21	〃（皮膚の保護と手入れ～こどものおしゃれによる皮膚トラブル）	P118～127	P41～42	対面	
22	復習（問題演習）第5章（2択問題）	P106～127	P43～44	対面	
23	第2回目期末試験対策（第4章～第5章）	P94～127	P45～48	対面	
24	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患（湿疹・蕁麻疹・薬疹等）	P128～145	P49～52	対面	
25	〃（温熱・寒冷による皮膚障害）	P145～155	P53～54	対面	
26	〃（化膿菌による皮膚疾患等）	P156～165	P55～56	対面	
27	〃（毛と爪の疾患等）	P165～175	P57～58	対面	
28	復習（問題演習）第6章（2択問題）	P128～175	P59～60	対面	
29	第3回目期末試験対策（第6章）	P128～175	P61～64	対面	
30	授業の総まとめ（テスト返却）	P70～175	P65～66	対面	

主な使用教材	『保健』第2編（公益社団法人日本理容美容教育センター）
評価方法及び基準	□定期テストの合計点数÷定期テストの規定回数=評価点 90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D □定期テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。 学生のてびき第1章（3）①～⑥の理由で定期テストを欠席した場合、追試験の素点を評価の対象とする。 自己都合で定期テストを欠席した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。 □各回の定期テストで60点未満の生徒については、講習を受講したうえで再試験を受験することを義務づける。 再試験を受験した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。

教科シラバス

◆教科	香粧品化学	◆科目	香粧品化学1	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード		◆担当教員	非常勤講師		

◆授業の目的と概要	シャンプーやメイクアップなどの美容の技術を行うにあたり、器具と同様に多用するものが香粧品であり、 香粧品の使用なくしては成り立たない。まずは、原料や配合の成り立ち、性状、使用目的など、公衆衛生に 資する美容師として身につけるべき事項について、化学的性質をふまえながら学ぶ。
◆到達目標	香粧品の化学的性質を理解し、正しく使用するための正確な知識を身につけること。

授業計画

回	内容	教科書（副教材）	授業の形式	備考
1	オリエンテーション　第1編 第1章 1節 香粧品とは	P.8～p.11	講義	
2	第1章 2節 香粧品と造形	p.12～p.15	講義	
3	3節 香粧品の効果と使用プロセス　第2章 1節 香粧品の使用によるトラブル	p.16～p.22	講義	
4	第2章 2節 香粧品の定義と法規制	p.23～p.31	講義	
5	3節 香粧品の安全性と安定性	p.32～p.40	講義	
6	第3章 1節 香粧品の成り立ち	p.41～p.45	講義	
7	2節 水と親水性溶媒	p.46～p.49	講義	
8	3節 油性原料	p.50～p.58	講義	
9	単元まとめ	p.8～p.58	講義	
10	定期試験解説と国家試験に向けて	p.8～p.58	講義	
11	第3章 4節 界面活性剤	p.59～p.62	講義	
12	4節－2 界面活性剤の種類	p.63～p.66	講義	
13	5節 高分子化合物 6節 色材	p.67～p.71	講義	
14	6節－3 無機顔料	p.72～p.76	講義	
15	7節 香料	p.77～p.80	講義	
16	8節 製品を安定させる配合原料	p.81～p.85	講義	
17	9節 その他の機能性配合原料	p.86～p.92	講義	
18	9節 その他の機能性配合原料	p.86～p.92	講義	
19	10節 雑貨原料	p.93～p.95	講義	
20	単元まとめ	p.59～p.95	講義	
21	定期試験解説と国家試験に向けて	p.59～p.95	講義	
22	第2編 第1章 1節 香粧品の効果と使用プロセス	p.97～p.99	講義	
23	第1章 2節 クレンジング用香粧品	p.100～p.102	講義	
24	2節－2 クレンジング用香粧品の種類とその性質	p.103～p.105	講義	
25	3節 コンディショニング用香粧品	p.106～p.109	講義	
26	3節－4 クリーム	p.109～p.111	講義	
27	3節－5 乳液	p.112～p.115	講義	
28	単元まとめ	p.97～p.115	講義	
29	定期試験解説と国家試験に向けて	p.97～p.115	講義	
30	学年まとめと次年度に向けて	p.8～p.115	講義	

主な使用教材	『香粧品化学』（公益社団法人日本理容美容教育センター）
評価方法及び基準	□定期テストの合計点数÷定期テストの規定回数=評価点 90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D □定期テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。 学生のてびき第1章(3)①～⑥の理由で定期テストを欠席した場合、追試験の素点を評価の対象とする。 自己都合で定期テストを欠席した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を 評価の対象とする。 □各回の定期テストで60点未満の生徒については、講習を受講したうえで再試験を受験することを義務づける。 再試験を受験した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。

教科シラバス

◆教科	文化論	◆科目	文化論1	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆授業の回数	1h× 30回
◆科目コード	11501	◆担当教員	非常勤講師		

◆授業の目的と概要	人の歴史の最古から、美容がかかわってきたことを学ぶことは、今を知るためにとても重要である。
	歴史は、かつて人が生み出したデザインの宝庫であるからである。
	その知識と現代のものと融合することで新しいデザインの幅が広がり美容師としての更なる美の追求の為に学ぶ。
◆到達目標	日本の歴史に興味を持ち、日本の美容が素晴らしい文化を持ってる事を知る。
	そして、その文化に誇りを持ち、これから歴史を作っていく発信者としての志を持つこと
	結果として、文化論を理解し美容師として国家資格に必要な知識を持つこと

授業計画

回	内容	教科書	授業の形式	備考
1	オリエンテーション ／ 第1章 第1節 総論	P6～8	講義	2024年度
2	第2章 1節 理容業・美容業の登場	P9～12	講義	
3	第2章 2節 江戸時代の理容業・美容業	P13～16	講義	
4	第2章 3節 近代の理容業・美容業	P17～25	講義	
5	〃	〃	講義	
6	第2章 4節 現代の理容業・美容業	P26～32	講義	
7	第3章 1節 縄文・弥生・古墳時代	P34～39	講義	
8	〃	〃	講義	
9	第3章 2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	P40～48	講義	
10	〃	〃	講義	
11	第3章 3節 中世（平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代）	P49～55	講義	
12	〃	〃	講義	
13	第3章 4節 近世（戦国時代末期・安土桃山時代）	P56～58	講義	
14	第3章 5節 近世（江戸時代）	P59～73	講義	
15	〃	〃	講義	
16	〃	〃	講義	
17	〃	〃	講義	
18	第3章 6節 近代（明治時代）	P74～80	講義	
19	〃	〃	講義	
20	第3章 7節 近代（大正時代）	P81～84	講義	
21	第3章 8節 近代（昭和20年まで）	P85～88	講義	
22	第3章 9節 現代（1945年～1950年代）	P89～94	講義	
23	〃	〃	講義	
24	第3章 10節 現代（1960年代～1970年代）	P95～102	講義	
25	〃	〃	講義	
26	第3章 11節 現代（1980年代～1990年代）	P103～111	講義	
27	〃	〃	講義	
28	第3章 12節 現代（2000年代～2010年代）	P112～117	講義	
29	〃	〃	講義	
30	まとめ 国家試験に向けて	〃	講義	

主な使用教材	『文化論』（公益社団法人日本理容美容教育センター）
評価方法及び基準	□定期テストの合計点数÷定期テストの規定回数=評価点
	90点～100点⇒A、70点～89点⇒B、60点～69点⇒C、59点以下⇒D
	□定期テストを欠席した場合、追試験を受験することができる。
	学生のてびき第1章(3)①～⑥の理由で定期テストを欠席した場合、追試験の素点を評価の対象とする。
	自己都合で定期テストを欠席した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を
	評価の対象とする。
	□各回の定期テストで60点未満の生徒については、講習を受講したうえで再試験を受験することを義務づける。
	再試験を受験した場合、60点以上の点数は、全て60点として評価の対象とし、60点未満の場合は素点を評価の対象とする。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	接客マナー	◆科目コード	20306	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	常勤教員・非常勤講師	◆授業の回数	1h×60
◆授業の目的と概要	この単元では、就職活動における面接の際や、将来、美容室で就職した時に、知っておくべき一般的マナーを学ぶ。						
◆到達目標	就職活動や、美容室で就職した際に、失礼のない受け答えができるようになること。						

回数	授業の形式	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1	講義	一般マナー	1.マナーの基本、2.分離礼と同時礼、3.好感をもたれる話し方	プリント	
2	講義	一般マナー	4.敬語、5.敬語をさらに詳しく、6.改まった言葉づかい、7.気をつけたい敬語表現	プリント	
3	講義	一般マナー			
4	講義	一般マナー			
5	講義	一般マナー			
6	講義	一般マナー			
7	講義	一般マナー			
8	講義	一般マナー			
9	講義	一般マナー			
10	講義	就職	就職活動の仕方やスケジュールを理解しよう		
11	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう	就職ガイダンス案内	
12	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう	就職ガイダンス案内	
13	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう	就職ガイダンス案内	
14	講義	就職	就職ガイダンスに参加して、美容室のオーナーさんや従業員の方と話してみよう	就職ガイダンス案内	
15	講義	就職			
16	講義	就職			
17	講義	就職			
18	講義	就職			
19	講義	就職			
20	講義	就職			
21	講義	就職			
22	講義	就職			
23	講義	就職			
24	講義	就職			
25～27	講義	BB検定①			
28～30	講義	BB検定②			
31～33	講義	BB検定③			
34～36	講義	BB検定④			
37～39	講義	BB検定⑤			
40～42	講義	BB検定⑥			
43～45	講義	サロンワーク	サロンについての講習		
46	講義	サロンワーク	ヘア剤の種類と使い方		DEMIさん
47	講義	サロンワーク	2年間の学校の過ごし方		主任
48～50	講義	サロンワーク	ヘアショー		oceanTokyo高木
51～53	講義	サロンワーク	サロンのジャンルについて、有名な美容師について、ブランドのファッションについて		西尾先生
54	講義	サロンワーク	アートの見方		西尾先生
55	講義	サロンワーク	写真家とその表現		西尾先生
56	講義	サロンワーク	スタイルブックとは		西尾先生
57～	講義	サロンワーク			
～60	講義	サロンワーク			

評価方法及び基準	
	出席点=出席コマ数÷授業コマ数×100
	【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	出席点が59点以下の場合、担当教員の指定した課題を提出することにより、C評価（60点）として評価する。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	カルチャー1	◆科目コード	20308	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	1年（通年）	◆担当教員	常勤教員・非常勤講師	◆授業の回数	90h

◆授業の目的と概要	美容業に必要な実践的な能力を高めることができると思われる内容をピックアップし、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことに よって、社会人としての心構えを養うとともに、芸術、文化などの幅広い教養を身につける。
◆到達目標	この単元を通じて得た教養が、豊かな感性の発達につながること

授業№	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1～3	講義	パーソナルカラー①	ファッションの変遷、補色の効果、 色送遣、カード並べ、色と番号を覚えて一問一答 トーン、覚えてカード並べ、明度、彩度、明清色、暗清色、濁色、色でカード並べ、アンダートーン	パーソナルカラーワークブック	
4～6	講義	パーソナルカラー②	色彩・パーソナルカラーについて 色相環、カード並べ、色を覚えて一問一答 トーン、アルファベット、色カード並べ、ドレープ色の対比（赤・緑）	パーソナルカラーワークブック	
7～9	講義	パーソナルカラー③		パーソナルカラーワークブック	
10～12	講義	パーソナルカラー④		パーソナルカラーワークブック	
13～15	講義	パーソナルカラー⑤		パーソナルカラーワークブック	
16～18	講義	デッサン①	手を描く（鉛筆デッサン）、髪の描き方の説明、漫画の模写、隣の人の髪を描く	鉛筆、消しゴム、鉛筆削り	
19～21	講義	デッサン②	各種髪型の描き方、メイクの描き方、隣の人の髪を描く	鉛筆、色鉛筆、消しゴム、 鉛筆削り	
22～24	講義	デッサン③	デザイン画の描き方、隣の人の髪を描く	鉛筆、色鉛筆、消しゴム、 鉛筆削り	
25～27	講義	展開図①			
28～30	講義	展開図②			
31～33	講義	展開図③			
34～36	講義	展開図④			
37～39	講義	展開図⑤			
40～42	講義	フォト①	SNSって何？　ティックトックでバズルポイント		
43～45	講義	フォト②	サロンでの撮影の仕方、カラーフィルムを使った撮影		
46～48	講義	フォト③	ヘアショー（ダークロマンティック）、クリエイティブ撮影の仕方		
49～51	講義	フォト④	ブランディングの仕方、カメラマン撮影の仕方		
52～54	講義	フォト⑤	ヘア、メイクを綺麗に撮影するためには		
55	講義	ヘルスケア①	ビジョントレーニング①		
56	講義	ヘルスケア②	メンタルケア　心理テストの結果と解説		
57	講義	ヘルスケア③	ビジョントレーニング②		
58	講義	ヘルスケア④	ヘアケア　毛髪サイクル、壮年性脱毛症の原因、症状、ケアの方法		
59	講義	ヘルスケア⑤	スキントラブル		
60	講義	ヘルスケア⑥			
61～63	講義	ヘルスケア⑦			
64～66	講義	アロマ①			
67～69	講義	アロマ②			
70～72	講義	フラワーアレンジメント			
73～75	講義	グループワーク①			
76～78	講義	グループワーク②	美術鑑賞		
79～81	講義	グループワーク③	スポーツ大会説明等		
82	講義	グループワーク④	コース選択説明		
83～85	講義	グループワーク⑤	学園祭　ヘアショー見学		
86～	講義	グループワーク	学園祭		
～90	講義	グループワーク	学園祭		

評価方法及び基準	出席点=出席コマ数÷授業コマ数×100 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価 出席点が59点以下の場合、担当教員の指定した課題を提出することにより､C評価（60点）として評価する。